

—支部通信欄—

1 事務局からのお願い

(1) 退会・転出・転入された方へ

日本気象学会から退会される方、北海道支部から他支部へ転出、他支部から北海道支部に転入された方は、日本気象学会本部事務局へ連絡すると共に支部事務局へも連絡願います。

(支部事務局への連絡は、支部機関誌「細氷」末頁の『所属(住所)変更届』をご利用下さい)

(2) 学会への勧誘について

気象に関心をお持ちの方が身近におられましたら、気象学会への入会をお勧め願います。

入会申込書は支部事務局にあります。

会員の種別および年会費は下表のとおりです。また、A会員には気象学会機関誌「天気」のみ、B会員には「天気」と「気象集誌(英文論文)」が配布されます。また、北海道支部発行の機関誌「細氷(研究発表会の要旨や解説等)」が無料配布され、更に学会が発行している「気象研究ノート」なども会員価格で購入できます。

	一般A会員	一般B会員	学生A会員	学生B会員
年会費	6,900円	12,600円	4,200円	8,100円
支部機関誌「細氷」	無料配布	無料配布	無料配布	無料配布
気象学会機関誌「天気」	無料配布	無料配布	無料配布	無料配布
気象集誌(英文論文)	有料購入	無料配布	有料購入	無料配布
気象研究ノート	有料購入	有料購入	有料購入	有料購入

2 編集後記

- (1) 昨年度の支部気象講演会は、「北海道の空・海・大地」をテーマに函館市で開催しました。ご協力いただきました函館海洋気象台並びに関係機関の皆様方に感謝申し上げます。
- (2) 本号の編集にあたり、寄稿者等多くの方々にご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。
- (3) 北海道支部と支部会員のつながりがいっそう緊密になるような親しみやすい機関誌にしたいと思っておりますので、掲載内容についてご意見・要望、アイデア等をお寄せください。
- (4) この通信欄は、支部会員相互の情報交換にもお使いいただけます。ご希望の方は原稿を支部事務局までお寄せください。

(問合せ先)

日本気象学会北海道支部事務局

〒060-0002 札幌市中央区北2条西18丁目

札幌管区気象台技術部気候・調査課内

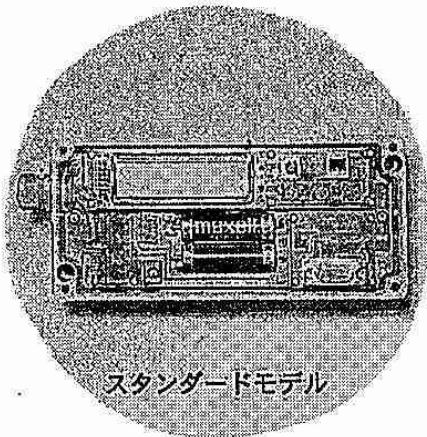
Tel 011-611-6147

Fax 011-611-3206



全天候型測定データ記録装置 KADEC-U21シリーズ

KADEC-U21シリーズは、全天候型測定データ記録装置KADEC-Uシリーズの後継シリーズとして、無電源（内蔵電池）で長期間測定ができ、非常に耐環境性に優れたデータ記録装置です。特にKADEC-U21シリーズは、TRON OS搭載とキャラクタLCD表示器により、操作性に優れ、低消費電力化をさらに進めたフィールド用次世代データロガーです。



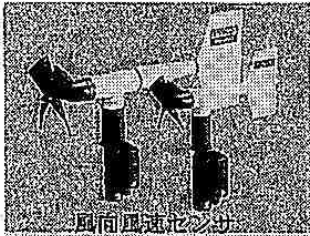
スタンダードモデル

- 測定中でも設定変更/データ回収（通信）/記録データ確認ができる。
- 記録計の標準電池で2年以上の連続測定。（10分間隔測定）
- タイマーの進み遅れ時間を調整するRTCアジャスト機能装備。
- 各データごとに測定日付時刻も合わせて記録。
- 電池残量レベルメーター機能搭載。
- 記録データのメモリバックアップ電池が不要。
- ターミナル通信モード機能を標準装備。
- 各データごとに測定日付時刻も合わせて記録。
- ブレダイマー機能、アフタースタート機能標準装備。

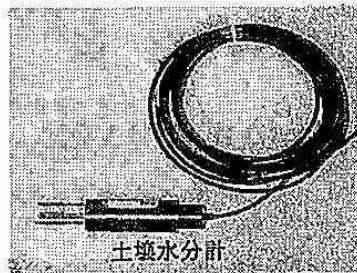
スタンダードモデルは、従来のKADEC-Uシリーズの小型ケースにコンパクト収納されています。また、携帯電話、モデムなども接続してデータ通信も行えます。

- ICカードによるデータ回収が可能
- ICカードフォーマット機能標準装備
- ICカード自動転送機能により長期間のデータ記録が可能

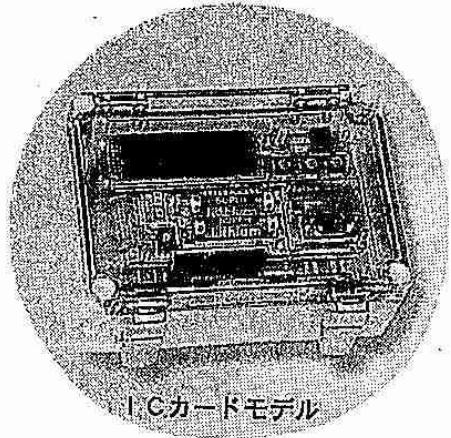
接続センサ例



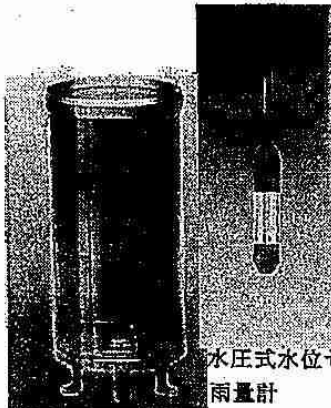
風向風速センサ



土壌水分計



ICカードモデル



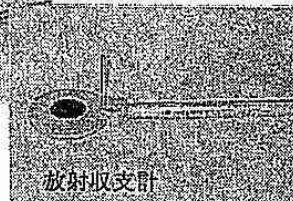
水圧式水位センサ
雨量計



日射計



温度センサ



放射収支計



温度センサ

その他、多数のセンサが接続できます。是非、ホームページを御覧ください。



コーナシステム株式会社

<http://www.kona.co.jp>

本社営業部 〒004-0015 札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目2番11号 TEL:011(897)8000 FAX:011(897)8001
 東京支店 〒108-0073 東京都港区三田2丁目14番5号加イトり三田ビル TEL:03(5442)2030 FAX:03(5442)2032
 福岡営業所 〒819-0042 福岡市西区荻坂団地136-3グァルテラ西福岡304 TEL:092(811)3005 FAX:092(811)3006

----- ユーザーの立場になって身になって身になって ■ -----

私たち、一同はより良い販売とサービスを通じ顧客満足度No.1を目指す企業です。

私たち、一同は新しい機器とシステムで、社会の発展に寄与し自ら成長する企業です。

私たち、一同はコストパフォーマンスを常に意識し、共存共栄を目指す企業です。

新しい技術を求めて、技術革新を追求する



株式会社 岩崎

注要取り扱い品目

地上・海洋気象機器、ダム自動制御、埋設計器、テレメータシステム
公害・電気測定器、各種試験器
OA機器、自動図化システム、CAD、GIS、GPS

計る、図る、測る、量る の総合商社です。

営業拠点

本	支	社	札幌市中央区北4条東2丁目1番地	TEL 011-252-2000
旭	川	店	旭川支流通団地2条5丁目	TEL 0166-48-1125
帯	広	支	帯広市西19条南1丁目4-21	TEL 0155-34-0005
釧	路	店	釧路市双葉町17番19号	TEL 0154-23-7488
函	館	支	函館市千歳町21番13号	TEL 0138-23-8301
北	見	支	北見市美芳町6丁目3番8号	TEL 0157-24-2831
苫	小	支	苫小牧市八代町1丁目2番地8号	TEL 0144-74-8171
網	走	支	網走市緑町1番8号	TEL 0152-43-3530
小	樽	支	小樽市勝納9-1	TEL 0134-27-5571
室	蘭	支	室蘭市東町2丁目29番3号	TEL 0143-43-6228
稚	内	支	稚内市朝日5丁目1478-1	TEL 0162-32-2608
留	萌	支	留萌市花園町5丁目2番地23号	TEL 0164-43-8338

岩崎ホームページアドレス <http://www.iwasakinet.co.jp>

機器設置及び保守点検
各種ソフトウェア開発

岩崎メンテナンスサービス㈱
(有) スタック

札幌、旭川、釧路、網走、函館
札幌

販売から、機器設置、データ処理と一貫としたシステムでお客様の要望にお答え致します。

視程観測に30年以上の経験があります。吹雪時の視程観測に！

新製品 前方散乱式視程計

DVM2000

MOR 10m~2000m
出力 RS232C 9600BPS
対象物 吹雪・濃霧・豪雨
降雪時の視程計測

姉妹品も御用命下さい

TZE-2型後方散乱式 100m~10km
TZE-4型後方散乱式 10m~1km
TZE-7型前方散乱式 10m~100km



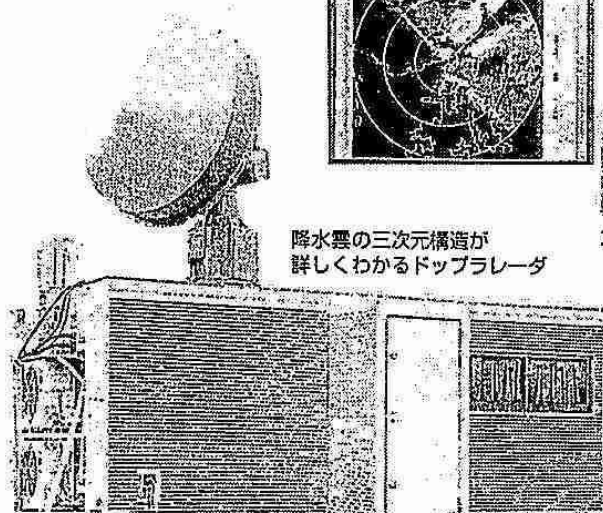
明星電気株式会社

お問合せは最寄の営業部、支店まで

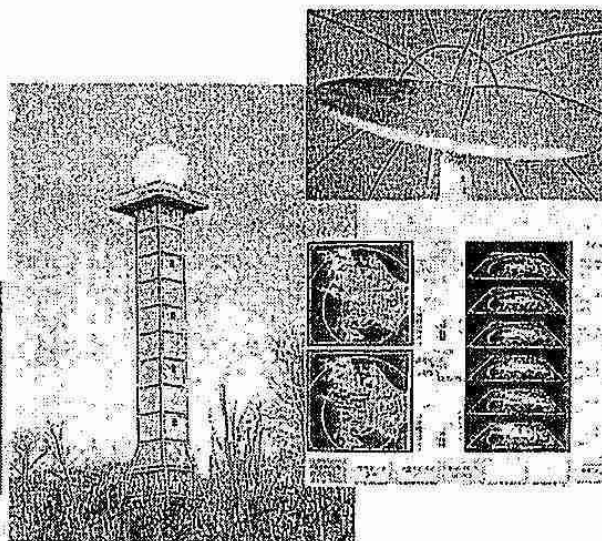
本 社 〒112-9511 東京都文京区小石川2-5-7
URL: <http://www.meisei.co.jp/>
第一営業部 Tel (03)3814-5126 Fax (03)3814-5286
札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目1番2B (おきりビル) 7F
Tel (011)231-7117 (代) Fax (011)231-7140

気象観測の進化をささえる、
JRCのレーダ技術。

1954年(昭和29年)、国内で初めて気象レーダを完成させたJRCは、以来企業活動や暮らしと密接な関わりのある気象予報の発達に取り組んでいます。



降水雲の三次元構造が
詳しくわかるドップラレーダ



全国各地の気象台で活躍する気象レーダ

JRC 日本無線株式会社

JRCホームページ <http://www.jrc.co.jp/>
本社事務所 〒107 東京都港区赤坂2丁目11番22号 赤坂ツインタワー本館
北海道支社 〒060 札幌市中央区北3条西7 北海道水産ビル ☎(011)261-8321(代表)

X Band 衛星データ受信システム TeraScan™SX-EOS

TeraScan SX-EOS System (EOS Terra and Aqua 衛星 MODIS 受信システム)の主な特徴

1. 高信頼性の3.6m レドーム付アンテナによりプログラム追尾と自動トラッキング追尾の併用により安定した自動受信
2. アンテナコントローラ・受信機・受信制御CPUを小型ラックに収納し省スペース化を実現
3. 受信データから Level0 PDS データ及びクイックルック画像(チユウカラー)の自動作成
4. IMAPP (International MODIS/AIRS Processing Package)との併用により、キャリブレーション処理及びラジアン値に変換
5. MODIS センサーの Bowtie 効果を独自のソフトウェアによって変換
6. SeaWiFS-type の水色アルゴリズムによるクロロフィルデータの作成
7. 濁度データ・NDVI 算出・山火事の検出等の処理が標準搭載
8. NETOP, NPP, NPOESS 衛星受信装置への拡張を予定
9. Oceansat-1 の直接受信処理システムに拡張可能
10. NOAA (HRPT), Orbview (SeaWiFS), FY-1 (MVISR), GMS (SVISSR), FY-2 (SVISSR), GOES (GVAR), DMSP (OLS) 各種衛星の受信・解析システムを提供

リモートセンシング関連商品

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------|
| ・ 気象衛星「NOAA APT」受信システム | NPS-1 シリーズ(陸上用・船舶用) |
| ・ 気象衛星「GMS WEFAX / MTSAT LRIT」受信システム | GMSP-2 シリーズ(陸上用・船舶用) |
| ・ 環境観測技術衛星「ADEOS-II DTL」受信装置 | ANPS-2 シリーズ(陸上用・船舶用) |
| ・ 衛生画像解析ソフトウェア | IPSR (NASDA, JAFIC データ等の解析が可能) |
| ・ マイクロレインレーダ(24GHz 100mW) | MRR-2(ドイツ METEK 社製品) |

TeraScan は、米国 SeaSpace 社の登録商標です。

E-mail depart.nol@nhe.co.jp

NHE 日本船用エレクトロニクス 株式会社 〒221-0044 横浜市神奈川区東神奈川2-40-7
TEL (045)453-6914 FAX (045)453-6919

超音波だからできる 3次元風速成分の測定と ハイレスポンスでの温度測定

他方式の風速計では困難であった

ハイレスポンスの風のベクトル的測定と温度変動の測定を可能にした

超音波風速温度計がマイクロプロセッサ搭載により高機能化が図られて誕生しました。

世界初の超音波風速温度計の実用版を開発して20余年。

乱流・熱収支・水収支
観測や・風洞・ビル・
橋梁風などの観測に…

DA-600型 SERIES

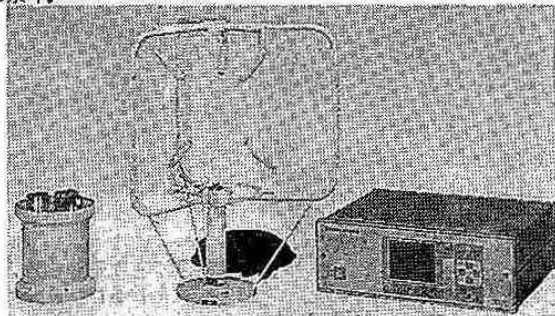
KAIJO

株式会社 カイジョー

東京都羽村市栄町3-1-5 〒205-0002
TEL 0425-55-2244(ダイヤルイン)
FAX 0425-55-7176

計測制御システム事業部
TEL 0425-55-6080(ダイヤルイン)
FAX 0425-79-5171

北海道支店
TEL 011-251-0350(代)
FAX 011-251-4694



AVC総合商社ならではの 理想的なトータルシステムを創造します。

個々のメディアの機能を最も適合する分野を分担させて複合的に利用し、相乗的効果をねらい、能率よく、効果的な学習(情報伝達)を進めることは、一つの目標の達成のために生かされなければなりません。

私達はあらゆる未来を予測し、効率的なコミュニケーションの場をトータルなものとして施設、設備やソフトウェアにいたるまで考えております。

お問い合わせ
ご用命は **札幌(011)643-1010**

ホームページ <http://www.kcav.co.jp>

北海道知事許可(般)石第14852号・電気通信工事業



K-CAV



株式
会社 **光映堂シーエーブ**

- 本 社/札幌市中央区北4条西15丁目 ☎(011)643-1010
FAX(011)641-2247
- イベントレンタル部/札幌市中央区北4条西15丁目 ☎(011)643-2155
- 旭川営業所/旭川市豊岡13条7丁目4,7 ☎(0166)31-0615
FAX(0166)31-0618
- 釧路営業所/釧路市昭和中央3丁目1番8号 ☎(0154)55-2111
FAX(0154)52-2111

ホームページ <http://www.kcav.co.jp>

日本気象学会北海道支部 研究発表会申込み方法及び原稿作成要領

1 研究発表会申込みの方法及び期限

(1) 申込み方法

申込み希望の方は、申込み期限までに発表題目・氏名（共同発表の場合・発表者の左肩に○印）

- ・使用機器（スライド・OHP 使用の有無）を北海道支部事務局まで提出すること。

(2) 申込み期限

第1回研究発表会（5月20日必着）、第2回研究発表会（10月20日必着）

2 研究発表会原稿作成要領及び提出先

(1) 原稿用紙

A4版（縦長・横書）に上下左右のマージンを1cmとった用紙を使用する。

この原稿用紙に書かれたものをそのまま写真でB5版の大きさに縮小して印刷する。従って執筆者が書いた文字・図表はそのままの姿で印刷され、原稿用紙一枚が1頁となる。

この原稿用紙をB5判に縮小する割合は0.86なので、図表もこの比率で縮小されるので注意すること。

手書き用の原稿用紙を希望される方は支部事務局に連絡願います。

(2) 原稿の記入

原稿の体裁を統一する必要から、最初の行の中央に標題（本文より大きい文字を書き、長い場合2行にわたっても差し支えない）、1行あけて右側に氏名と（所属）を書く。（連名者が多い場合は、次の行にわたっても良い）。

本文は章だてとし、本文が7行目あたりから始まるように記入する。

原稿は1編をA4版用紙1~2枚に書き、なるべく余白を出さないように留意すること。

文字・図表などは黒色で出力すること。カラーの図表は、全て白黒に印刷され、明瞭に印刷されない恐れがあるので、できるだけ使用しないこと。

提出された原稿は編集印刷の際、用語、文字などの訂正が難しいので、原稿作成にあたっては十分に注意すること。読み難い原稿は書き直しをお願いすることもあります。

(3) 図 表

図表はその大きさや、図表中の文字・数字の大きさ等について縮小の比率を十分に考慮し、見苦しくならないように作成する。

- ・原稿用紙に直接図表を記入するか、貼り付ける。
- ・グラフ用紙を使用する場合は、罫線が濃いものを使用しない。
- ・図表には標題と説明文も付加する。

(4) 提 出 先

原稿は必ず研究発表会当日会場へ持参し、支部事務局員に提出する。

原稿に使用した図や写真の返却を必要とする場合は、提出の際その旨申し出下さい。

細 氷 No.48

平成14年 9 月 30 日 印刷
平成14年 9 月 30 日 発行

編 集 行 日本気象学会北海道支部
編集委員 西 道 夫
〒060-0002 札幌市中央区北2条西18丁目
札幌管区气象台気候・調査課内
Tel (011)611-6147

印刷所 クリーンホソクラ
〒064-0810 札幌市中央区南10条西9丁目
Tel (011)521-2355